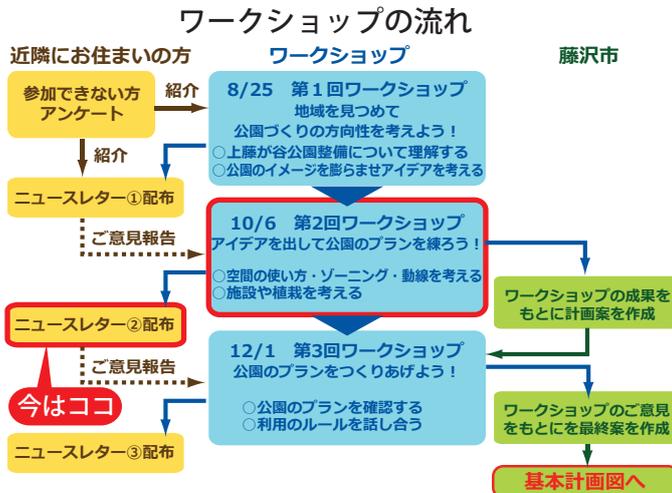


このニュースレターでは上藤が谷ワークショップで検討した成果をご紹介します

第2回ワークショップを開催しました

上藤が谷公園は、神奈川県企業庁の職員宿舍跡地に整備する「街区公園」です。現在は、芝草広場として暫定的に利用していただいています。公園整備は2020年度に行い、2021年度にオープンする予定です。

地域の方々に親しまれる公園になるように、「ワークショップ」を開催しています。10/6に15名の方にお集まり頂き、第2回ワークショップを行いました。今回は「アイデアを出して公園のプランを練ろう！」をテーマに検討を行いました。

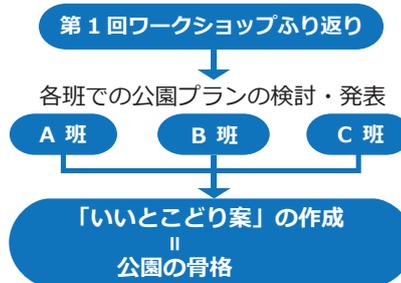


◎ 第2回ワークショップの流れ 詳しい内容は裏面でお伝えします

はじめに、第1回で話し合ったことのふり返しをしたあと、3つの班に分かれて、いろいろな内容について意見交換しながら公園プランを平面図にまとめ、発表しました。(裏面参照)

最後に、全体で3班の公園プランを見比べながら、共通した考えの部分を確認し、意見が分かれた部分は意見交換しながら、「いいとこどり案」をつくりました。(下記参照)

第2回ワークショップの流れ



◎ 「いいとこどり案」をつくりました 第2回ワークショップでまとめた「いいとこどり案」

<上藤が谷公園の骨格>

- ・現況のように芝生の広場がある空間を基本とする
- ・南側・中央の既存樹木を活かす
- ・出入口は4方向に設ける
- ・北側・南側広場をつなぐ位置に休憩エリアを設ける
- ・隣家との境界部は、ボール入りこみを防ぐフェンスと植栽を設ける

<引続き検討する事項>

- ・北側広場の空間の取り方について
自由に遊べ、災害時やイベントにも利用できるようひとつの大きい空間とするか、危険なボール遊びを防ぐために空間を区切るか、ボール遊びのルールづくりも含めて引続き検討することになりました
- ・遊具について
子ども達に自由に遊んでほしいので遊具は置かなくてよいという意見がある一方で、事前アンケートの「遊具のある公園」がよいという意見もあるので、検討の参考にするために、どんな遊具が人気があるか、はすいけ児童クラブの子ども達にヒアリングすることになりました



上藤が谷公園ワークショップ及びニュースレターの内容について、ご意見・ご要望などありましたら下記までご連絡下さい。

藤沢市 都市整備部 公園課 計画・整備担当

TEL : 0466-25-1111(内線4341) FAX : 0466-50-8439 e-mail : fj-kouen@city.fujisawa.lg.jp

◆◆ 班ごとの公園のプランと検討内容を紹介します ◆◆

今回は班ごとに別々のミッションを示して、プランを考える出発点にして意見を出し合ってもらいました。

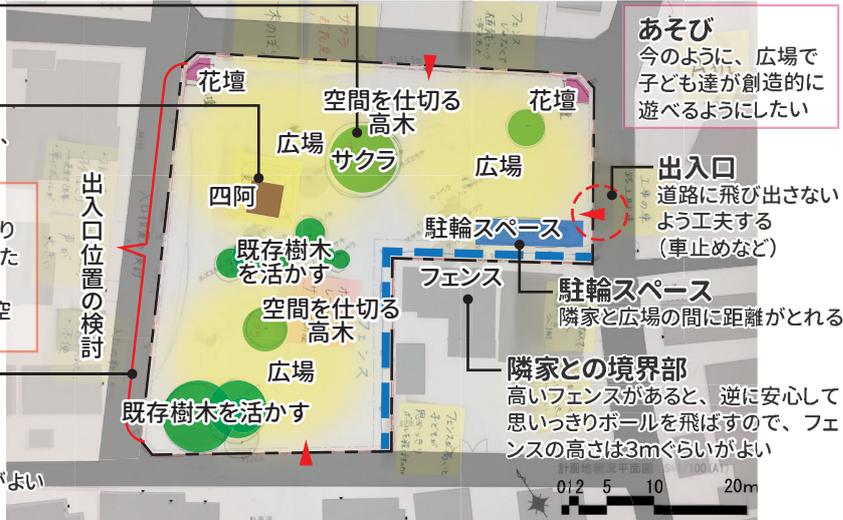
A班 ミッション：「安全な利用を考えた入口・動線と園路計画を中心に考える」 →樹木で空間を区切ることで危険なボール遊びを防ぎつつ、みどりを楽しめるプラン

植栽
周辺にみどりが少ないので植えて欲しい
サクラを新たに植えてお花見をしたい

休憩施設
南・北のスペース両方を見られる位置に、
四阿を設置する

空間の分け方
ボールが隣家に入ったり、車に当たったり
しているため、危険なボール遊びを防ぐため、
高木で空間を区切る
高木は、目線を確保しつつ、心理的に空間を
分けることができる

出入口
使いやすさを考えると、4方向に出入口
があるのがよい
東・北・南の出入口は現状の位置
西側は居住者の意見を聞いて決めるのがよい



あそび
今のように、広場で
子ども達が創造的に
遊べるようにしたい

出入口
道路に飛び出さない
よう工夫する
(車止めなど)

駐輪スペース
隣家と広場の間に距離がとれる

隣家との境界部
高いフェンスがあると、逆に安心して
思いっきりボールを飛ばすので、フェ
ンスの高さは3mくらいがよい



話し合いの様子



発表の様子

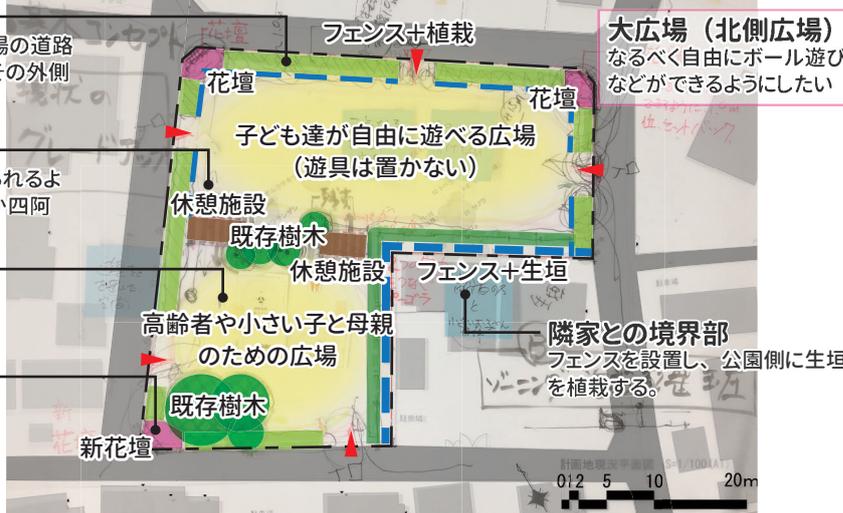
B班 ミッション：「ゾーニングや施設配置からプランを考える」 →自由に遊べる広場とゆっくりできる広場をつくり、「現状をグレードアップ」するプラン

外周のつくり
ボールの飛び出し防止のため、北側広場の道路
沿いに高さ1.5mのフェンスを設置し、その外側
(道路側)に幅1mの植栽を配置する

休憩エリア
動線を確保しつつも、両方の広場が見られるよ
う、2つの広場をつなぐ位置にパーゴラか四阿
を設置し、北と南の空間を仕切る

小広場の施設
高齢者が利用できる健康遊具や、
小さい遊具を検討したらどうか

花壇
道路側から安全に手入れできるよ
う1mくらいセットバックする
新たに南西角にも花壇を設置する



大広場(北側広場)
なるべく自由にボール遊び
などができるようにしたい

子ども達が自由に遊べる広場
(遊具は置かない)

隣家との境界部
フェンスを設置し、公園側に生垣
を植栽する。



話し合いの様子



発表の様子

C班 ミッション：「近隣・周辺への影響に配慮したプランを考える」 →近隣・周辺に配慮しつつ、動的な遊びやイベントができる広場と大人・幼児のための広場をつくるプラン

あそび
小学生は体を動かすなど遊具以外の遊びをする
ボール遊びは北西角を中心に行うようにする
北側の道路沿いにボールの飛び出し防止のフェ
ンスなどが必要
どこまでのボール遊びをOKとするか、ルールづ
くりが必要

近隣・周辺に配慮する施設
ベンチは、周辺の家の中が直接見えないよう、
場所・向きに配慮する
照明灯は、周辺住宅に光害が生じないよう工夫
が必要

外周
ボールや子どもの飛び出しを防止するため、
樹木やフェンスを設置する



広場の芝生
砂ほこりがたたないよう
芝生(草地)広場とする
芝草広場の管理について
町内会や愛護会での仕組
みづくりが必要

**動的な遊び、イベント
ができる広場**

**見通しを確保し、
死角をつくらな
いようにする**

**幼児が安全に遊べる
大人がくつろげる広場**

フェンス+植栽帯
窓部は高木

隣家との境界部
3~4mのフェンスを設置する
フェンス前面に生垣を植栽する
隣家の窓の位置に配慮し、高木
を植栽する



話し合いの様子



発表の様子

第3回ワークショップは、12月1日(土)14時より鶴沼藤が谷市民の家で開催します。

第3回ワークショップでは、「いいとこどり案」の方向性と法令等を踏まえて市で作成した計画案をもとに、より具体的な内容について意見交換を行います。